

令和2年10月21日

発 言 者	発 言 要 旨
高橋（淳）委員	電気事業会計の流動負債が前年より増加している主な要因は何か。
財務主幹	建設改良工事が前年より多く、そのうち支払いが次年度に行われる分を未払金として決算に計上したことが流動負債の増加の要因となっている。
高橋（淳）委員	三世代同居リフォーム補助の世帯区分別の実績はどうか。
住宅対策主幹	三世代同居世帯向けが1,641件、近居世帯向けが17件である。
高橋（淳）委員	当事業では三世代同居世帯への該当要件が「平成14年4月2日以降に生まれた子」と18歳以下に限定されており、大学卒業後に帰ってくる子どもと同居する場合は支援が受けられない。業者からも見直すべきとの声もあるが、来年度に向けた要件見直しについてどう考えるか。
住宅対策主幹	三世代同居の「子育て」世帯を支援する趣旨のため18歳以下の子どもがいる世帯としている。該当要件について業者等から質問があった際には丁寧に説明していきたい。
高橋（淳）委員	山形の家づくり支援事業については、期間を限定して、単発的に需要喚起を目的として実施した方が良く考えるがどうか。
住宅対策主幹	平成14年度から継続して実施している事業のため、予算の範囲内で効果的な支援を検討していきたい。
高橋（淳）委員	県内に移住する方や独身の方、夫婦のみの方に対しても住宅支援策が必要と考えるがどうか。また、もっと使いやすい制度になるよう来年度の制度設計を行う必要があると考えるがどうか。
建築住宅課長	移住世帯として、平成31年4月1日以降に移住してきた世帯員がいる世帯も支援の対象としている。
県土整備部長	住宅建築を支援する目的には、一つは住環境の向上・整備、二つ目は住宅業界の下支え・需要創出、三つ目は人口減少対策があると考えているが、これら目的を踏まえた上でエンドユーザーが使いやすいような制度となるよう不断の見直しを行ってきたい。
高橋（淳）委員	ハザードマップ等の情報を上手く活用できていない家庭も多いと思うが、今後、例えばデータ放送などのプラットフォームを活用して情報を提供していく考えはあるか。
河川砂防課長	県が作成した浸水想定区域図や市町村のハザードマップについては、現在ホームページ等で見ることができるが、今後、NHKのデータ放送においても見ることができるよう調整したいと考えている。

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>また、県の河川砂防情報システムにも様々な情報を掲載しているが、スマートフォンから見にくい状況のため、今後、スマートフォンからも見やすいよう対応していきたいと考えている。</p>
高橋（淳）委員	<p>本県における少子高齢化の現状を踏まえ、今後のまちづくりにおいて、どのような都市機能が必要と考えるか。</p>
都市計画課長	<p>まちの適正な規模や近隣市町村との都市機能の分担についての検討も行った上で、医療、福祉、子育て支援、商業、効率的な公共交通といった都市機能が必要になると考える。</p>
高橋（淳）委員	<p>空き家の利活用に向けたエリアマネージャーの役割や育成状況はどうか。</p>
建築住宅課長	<p>市町村と連携し地域に根差して空き家対策に取り組む人材をエリアマネージャーと位置付け、昨年度から育成セミナーを開催し100名以上の参加があった。現在も内容をステップアップしながら育成を行っている状況である。</p>
高橋（淳）委員	<p>やまがた健康住宅認証制度はどのような制度か。また、普及に向けた取組状況はどうか。</p>
建築行政主幹	<p>国が定めた省エネ基準を上回る断熱性と気密性を備えた住宅を県が認証する制度であり、山形の家づくり支援事業において、認証住宅を建築する際の支援を行うことにより普及を図っている。</p>
高橋（淳）委員	<p>県土整備部予算執行実績総括表の財源内訳の寄付金123万円はどのような事業に活用したのか。</p>
管理課長	<p>企業版ふるさと納税による収入であり、約21万円をやまがた景観物語おすすめビューポイントのツアー企画等に、約102万円を県酒田海洋センターの展示物の更新に活用した。</p>
高橋（淳）委員	<p>道路施設長寿命化対策事業費の県内4地域の内訳はどうか。</p>
道路整備課長	<p>橋梁については、現年分の約19億円のうち、村山7.7億円、最上1.7億円、置賜3.7億円、庄内4.4億円、残り1.9億円が事務費等の県庁執行分である。また、繰越分の約21億円のうち、村山4.2億円、最上3.1億円、置賜4.6億円、庄内7.8億円、残り1.5億円が事務費等の県庁執行分となっている。</p>
道路保全課長	<p>橋梁を除くトンネル等の大型構造物については、事業の対象施設の割合に応じて事業費を配分しており、村山が50%、最上が11%、置賜が17%、庄内が22%となっている。</p> <p>舗装修繕、側溝整備等の保全事業については、管理延長の割合を基本に配分している。</p>
高橋（淳）委員	<p>空港管理費及び空港維持費の決算額について山形空港より庄内空港の方が多理由は何か。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
空港港湾課長	<p>空港管理費は事務所の賃借料や警備委託等の経費、空港維持費は航空灯火の電気料金や保守点検の委託、除雪等の経費であるが、庄内空港の運用時間が山形空港より3時間長いことから金額が大きくなっている。また、庄内空港は周囲が林で囲まれており、空港周辺地域の高さ制限を超える樹木を伐採することがあることも一因となっている。</p>